

## 【第 48 回中央社会保障学校 from 名古屋】 Zoom 開催の技術的な面での意見

2021 年 9 月 愛知社保協

先日の中央社保学校は大変お疲れさまでした。

集会全体を通して大変勉強になり、この状況下でもこれだけの集会ができたという事は大きな励みにもなりました。

さて、当日の運営に少し関わらせていただいた中で、技術的な面についていくつか気になることがありましたので以下でお知らせいたします。今後へ向けてご検討いただければ幸いです。

- そもそもの話として、Zoom 開催とする必要があったのか。一般参加者にリアルタイムでの発言の機会がないのであれば、出演者だけを Zoom 参加とし、一般参加者は Live 配信を視聴することでもよかったのではないのでしょうか。
- 是枝さんと五十嵐さんを現地へ派遣していただき大変助かりましたが、その分、中央の体制が薄すぎたのではないのでしょうか。
  - ・全労連は、インターネットの活用という面で大きなノウハウを持たれているはずであり、社会保障担当という枠に捉われず、情報を共有し、効果的に発揮されることを望みます。
  - ・中央社保協としてのノウハウを蓄積していくことが必要だと考えます。今回は愛知開催ということで、たまたま現地に機材と人手がありましたが、次回以降、同様の環境の保障はありません。業者に頼めば数十万円という単位でお金がかかってくるのが想定されます。今後主催される様々な集会を通じて、改善していただけるよう望みます。
- 参加費を取る集会にもかかわらず、Zoom の受付が 1 人のみ、かつ手作業で一人ひとり参加者の確認をおこなうのは不可能だと考えます。
  - ・待機室を有効化して受付作業をおこなうには、一度待機室に来てしまうと名前の変更ができないため、参加する時点で必要な名前を設定して入る必要があります。参加者には事前に、どのような名前を設定して入ってくるのか周知徹底しておくことが必要です。
  - ・途中から待機室を無効化して無制限に受入れをおこないましたが、その場合は、全体に対して「名前の変更をおこなうこと、こちらの音声が届いているかを確認すること」の 2 点を、最低限、画面上の表示で周知徹底することが必要です（マイクでアナウンスしてもそもそもオーディオが接続されていない人には届きません）。
  - ・例えば愛労連などでは、ブレイクアウトルームを作り、入室した人から順番にその中に移動させ、ブレイクアウトルームの中でやり取りをして受付作業をおこない、確認ができた人からメインセッションへ戻すことで対応しています。自治労連愛知県本部では、「Zoom 参加のみなさんへ」という表示をBGM付きで画面共有しています。
  - ・ミーティングへの参加時に参加者全員をミュートにする設定にしておくべきと考えます。ミーティングをスケジュールする段階でもできますし、ミーティングが始まってからでも変更できます（今回は途中から勝手にそうさせてもらいました）。
- 参加費を取る集会であるなら、最初から参加者個別に ID を発行し、ウェビナーを使用することで、受付作業やミュートの問題は解決できるはずです。
- 今後も、試行錯誤しつつ、社保協の加盟組織全体で高め合っていきましょう。